

## 2022年度 第3回 鋼構造座屈小委員会議事録(案)

1. 日時 2022年12月27日(金)16時00分～18時00分
2. 場所 web会議
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 城戸將江, 木村祥裕, 倉田真宏, 小橋知季, 田川浩, 中澤祥二, 松井良太, 金尾伊織(記録) (敬称略)
4. 配付資料
  - 03-01 2022年度第2回鋼構造座屈小委員会議事録(案)
  - 03-02-01 諸問題国際展開WG | 設置申請ve2.doc
  - 03-02-02 Proposed Contents for English Edition of AIJ Stability Problems of Steel Structures\_20221213
  - 03-02-03 諸問題2022-1章-ブレース-220806\_概要検討例(倉田).docx
  - 03-02-04 LetterOfAgreement\_AIJ\_Stability\_SSRC.docx

### 5. 議事内容

#### 資料03-01

- ・前回の議事録を確認し, 承認された。

#### 資料03-02 SSRCとの連携について

- ・資料03-02に基づき, SSRCとの連携について, 倉田委員より説明があった。
- ・資料03-02-01に基づき, WG設置について説明があり, WG名称および活動目的について, AIJが主導的に活動していることが分かるような内容に変更することを条件に了承された。

主査: 倉田委員, 幹事: 松井委員,

委員: 田川委員, 小橋委員, 城戸委員, 中澤委員, 木村委員

- ・東京工業大学助教・三井和也先生にWG参加を木村主査より打診することを確認した。  
→ 三井先生よりWG参加への承諾を得た。

- ・資料03-02-02に基づき, 目次案と担当者案が説明された。
- ・作業労力を掛けすぎず, 引用数を増やすような構成が良いという意見があった。  
→ 英語論文がある場合は文献を引用し, 内容を簡略化する。  
→ 英語論文が無い場合についても, 同様に, 内容を簡略化した上で日本語論文を引用する。ただし, 内容の簡略化に関しては, まとめ方に工夫が必要。
- ・2013年版(3~7章, 保留: 10-11章)と2022年版で共通する章もあるため, 統合することも検討する。なお, 2013年版では, 設計指針の内容をまとめた章(6, 7章)もあるため, 指針にはあまり触れずに研究に重点をおいたまとめ方とすることを確認した。

- ・資料03-02-03に基づき, 1章の原稿案が示され, 概ね2/3程度の分量になることが説明された。  
→ 分量を半分以下にする必要がある。  
→ 実務者の参考となるような内容とすることを方針として, 例示のみにするなど, できるだけシンプルな内容にした方が良いという意見が出された。  
→ 各内容について, 日本語原稿で省略版を作成した方が良い。可能であれば, 各節の担当者が案を提案する。無理な場合は, WGの委員が担当する。5月頃までに, 日本語の省略版を作成することを目指す。

- ・次回委員会時に1章の見本を提供してもらい、議論することを確認した。
- ・今後の予定  
2023年度  
3月 : 1章の原稿案について議論  
3月または6月 : 鋼構造運営委員会でWGの申請  
6月以降 : SSRCとの覚書作成前から活動開始。  
覚書の内容については精査が必要。  
7月 : WG正式に設置  
2024年度 : 作業を概ね完了。

#### 来年度以降について

- ・2022年度をもって、竹内委員、井戸田委員が退任する意向であることが伝えられた。
- ・2023年度より、主査：金尾，幹事：城戸の体制で活動することが承認された。
- ・2023年度は、改定方針について再度検討し、2024年度から具体的に改定作業に取り組む予定が説明された。
- ・WGの構成員の多くは座屈小委員会の構成員であるため、2023～2024年度はWGと並行して活動し、改定作業とSSRCとの連携活動を円滑に進めていくことを確認した。
- ・次回委員会時に、2015～2018年度のWGで議論された指針の改定方針についてまとめた資料を提供し、今後の改定方針について議論を始める。

#### 6. 次回委員会

2023年3月16日（木）16：00～18：00 オンライン